

■橋田邦彦 医学者，教育行政家。日本主義的科学論で戦時政策に関わり，敗戦でA級戦犯になって，服毒自殺した。

はしだくにひこ

新体詩抄・・1882 = 鳥取市で，漢方医藤田謙造の次男に生まれる。

幼少期を倉吉に育ち，

帝国憲法発布1889 = 7歳：

大津事件・・1891 = 9歳：

日清戦争始・1894 = 12歳：

父の勧めで，陽明学に親しみ，

Bushidou・・1899 = 17歳：長瀬村(旧羽合町)の医師橋田浦蔵の養子となる。

ピアノ国産化・1900 = 18歳：鳥取中学を卒業し，

第一高等学校卒業，

日露戦争終・1905 = 23歳：

アフラギ创刊・1908 = 26歳：東京帝国大学医科大学医学科卒業。生理学教室に入り，

伊藤博文暗殺1909 = 27歳：東京帝国大学医科大学助手。

明治天皇没・1912 = 30歳：

第一次大戦始1914 = 32歳：\_生理学研究のため，ドイツのストラスブルグ大学に留学。この年の泉鏡花「日本橋」の登場人物にもなる。

\_日独開戦で一時幽囚の身となるが，スイスのチューリヒ大学に転じて，実権生理学を研究，

本格政党内閣1918 = 36歳：\_帰国し，東京帝国大学医科大学助教授となる。

原敬首相暗殺1921 = 39歳：\_医学博士。

水平社結成・1922 = 40歳：東京帝国大学教授。

\_生命とは何かをつきつめるうち，道元の「正法眼蔵」に出会い，

円本時代始・1926 = 44歳：学生実験の教科書「生理学小実験」を出版。

金融恐慌・・1927 = 45歳：

満州事変・・1931 = 49歳：\_初めて公に，「正法眼蔵」のことを語り，以後，教室員に定期的に講釈，

五一五事件・1932 = 50歳：\_初めて“全機性”の語を用いる。

帝人疑獄事件1934 = 52歳：\_論文や講演その他を集成した山極一三編「碧潭集」が刊行される。

芥川直木賞始1935 = 53歳：文部省思想視学委員，

二二六事件・1936 = 54歳：\_続いて，山極一三編「空月集」が刊行される。

日中戦争始・1937 = 55歳：\_\*“日本の科学”をつくるべきことを主張し始める。文部次官に要請され，第一高等学校校長を兼務(のちに，

高木彬光「わが一高時代の犯罪」で登場人物となる)するとともに，政府の諸委員会の委員となり，

第二次大戦始1939 = 57歳：\_「行としての科学」「正法眼蔵釈意」を刊行。教育審議会での長時間発言や特別委員会での発言が評価され，

大政翼賛会・1940 = 58歳：\_\*「科学する心」を出版，流行語となり，科学読物出版ブームを起こす。第2次近衛内閣の文部大臣に就任，

日米開戦・・1941 = 59歳：\_第2次近衛内閣の文部大臣兼大日本青少年団長となり，東條内閣成立後も留任，日米開戦詔書にも署名。体

育局・科学局を創設するなど活躍して，

創価学会検挙1943 = 61歳：\_\*辞任。東京帝国大学名誉教授，

年金+総武装1944 = 62歳：\_教学錬成所所長，

敗戦・・・1945 = 63歳：\_敗戦後，A級戦犯に指名され，敵軍の裁きを潔しとせず，服毒自殺した。

没後，「正法眼蔵釈意」全4巻が完結。

朝日選書「スキャンダルの科学史」，平凡社百科事典，